

# 長野県労働金庫

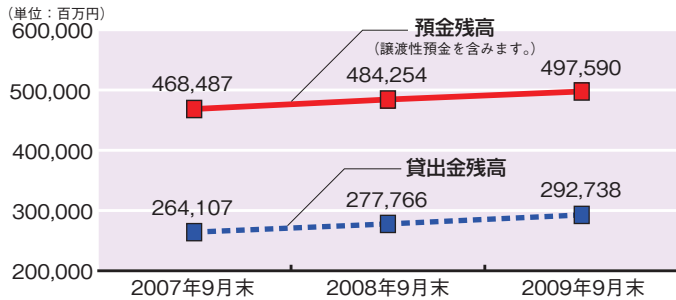
中間ディスクロージャー誌

# 2009

〈事業と財務状況のご案内〉

## 預金・貸出金の残高推移

2009年9月末の預金残高については、497,590百万円となり、2009年3月末から9,906百万円の増加となりました。貸出金は、292,738百万円となり、5,691百万円の増加となりました。



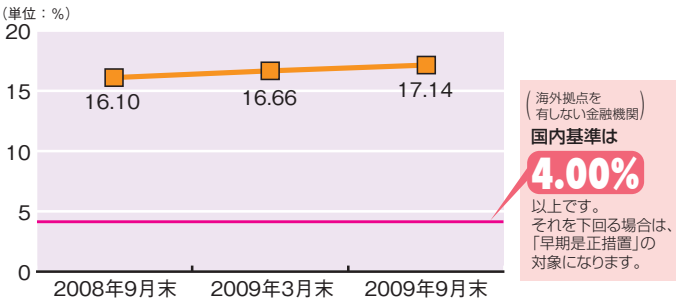
自己資本比率の高さが、  
経営の安定性を見るポイントとなります。

## 自己資本の額と自己資本比率

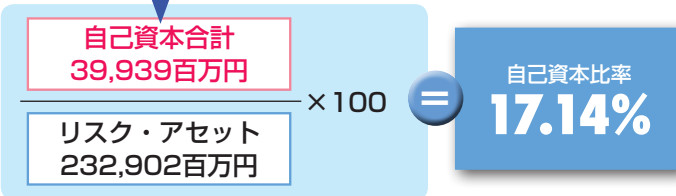
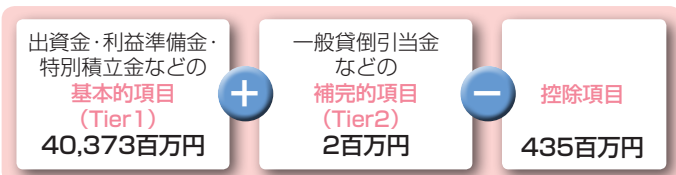
2009年9月末の自己資本比率は、17.14%となりました。

また、自己資本額(基本的項目(Tier1))は、40,373百万円となりました。

### 【自己資本比率】



### 【自己資本】



国内業務のみを行う金融機関の自己資本比率は、法令で4%以上(国内基準)であることが求められています。

<長野ろうきん>の自己資本比率は17.14%であり、国内基準を大きく上回っております。

また、自己資本のうち、出資金・利益準備金・特別積立金等で構成された基本的項目(Tier1)の占める割合が非常に高いため、より健全性が高いと言えます。

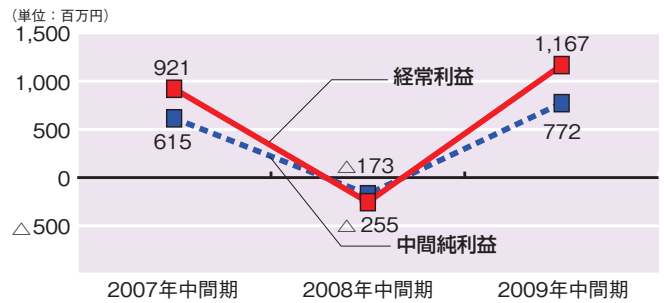
※2009年3月期より、自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成20年金融庁・厚生労働省告示第7号)に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除しておりません。なお、2009年9月期について、「その他有価証券の評価差損」の額(△1,287百万円)を控除して計算した場合は、自己資本比率は16.59%となります。

## 収益の推移

経常収益においては、貸出金残高増加による貸出金利息の増加により、前年同期比2億67百万円増加しました。

一方、経常費用においては、前年同期において金融危機を背景とした信用リスクの顕在化により保有有価証券について償却等の費用を計上しましたが、当期においては生じなかったため、前年同期比で11億56百万円減少しました。

したがって、経常利益は前年同期比14億23百万円増加の11億67百万円となり、中間純利益は前年同期比9億46百万円増加の7億72百万円となりました。

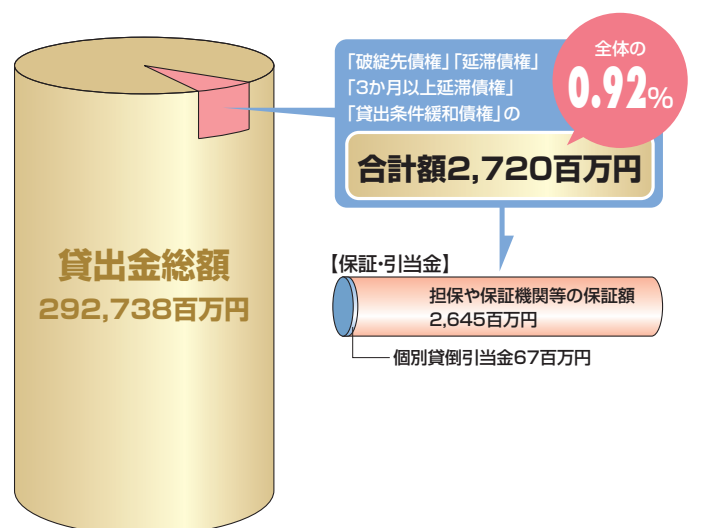


金融機関の健全性を見るには、  
不良債権の状況を知る必要があります。

## リスク管理債権について

2009年9月末における不良債権額等の状況は、「破綻先債権」、「延滞債権」、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」の合計で2,720百万円となり、総貸出金に占める割合は0.92%という低水準を維持しています。

また、「破綻先債権」、「延滞債権」、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」の合計額2,720百万円のうち、2,645百万円は担保や保証機関等の保証で債権の保全が図られ、67百万円は個別貸倒引当金により、1百万円は一般貸倒引当金により引当てを行い、保全措置を図っています。



## 貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	2008年9月末	2009年9月末
現金	3,644	3,576
預け金	90,099	99,656
金銭の信託	544	494
有価証券	142,428	133,927
貸出金	277,766	292,738
その他資産	5,536	6,917
有形固定資産	3,717	3,776
無形固定資産	14	12
繰延税金資産	2,400	1,245
債務保証見返	469	399
貸倒引当金	△70	△77
合計	526,551	542,667

負債及び純資産の部	2008年9月末	2009年9月末
預金積金	481,679	495,344
譲渡性預金	2,575	2,246
その他負債	2,330	3,110
代理業務勘定	7	8
引当金	2,460	2,472
債務保証	469	399
負債の部合計	489,522	503,581
出資金	1,844	2,014
利益剰余金	37,258	38,360
処分未済持分	△1	△1
会員勘定合計	39,100	40,373
その他有価証券評価差額金	△2,072	△1,287
評価・換算差額等合計	△2,072	△1,287
純資産の部合計	37,028	39,085
合計	526,551	542,667

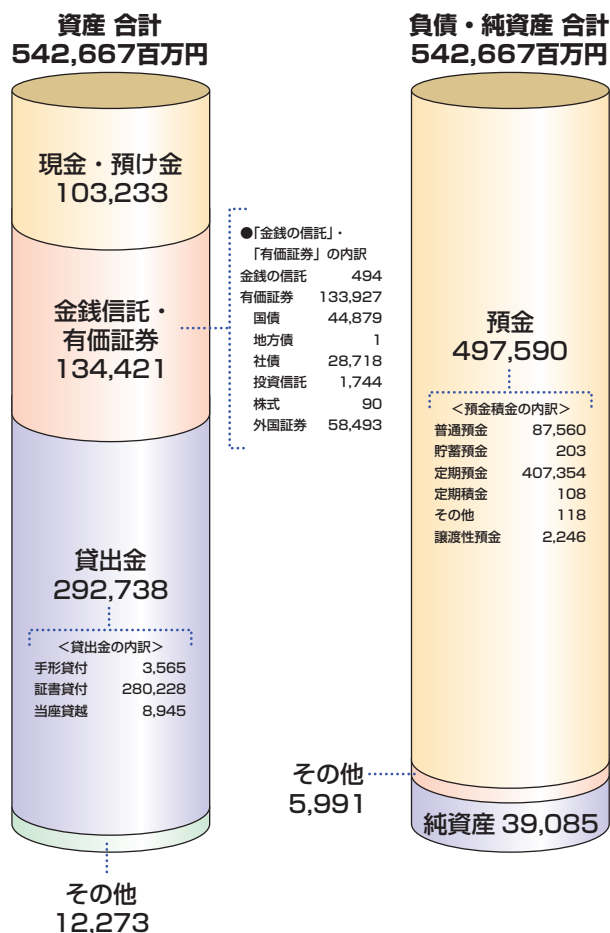
## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	2008年中間期	2009年中間期
経常収益	5,087	5,354
資金運用収益	4,805	4,969
役員取引等収益	87	89
その他業務収益	189	148
その他経常収益	4	146
経常費用	5,343	4,186
資金調達費用	851	847
役員取引等費用	318	359
その他業務費用	1,306	128
経費	2,844	2,828
その他経常費用	21	23
経常利益 (△は経常損失)	△255	1,167
特別利益	2	0
特別損失	1	34
税引前中間純利益 (△は中間純損失)	△254	1,133
法人税、住民税及び事業税	172	375
法人税等調整額	△253	△14
法人税等合計	△80	361
中間純利益 (△は中間純損失)	△173	772

## 資産と負債・純資産の状況

(単位:百万円)



## 主要な事業の状況を示す指標

(単位:百万円)

項目	2008年中間期	2009年中間期
経常収益	5,087	5,354
経常利益 (△は経常損失)	△255	1,167
中間純利益 (△は中間純損失)	△173	772
業務純益 (△は業務純損失)	△200	1,085

常勤従業員数 (人)	2008年中間期	2009年中間期
	375	381

## 主要な業務の状況を示す指標

(単位:%)

項目	2008年中間期	2009年中間期
資金運用利回	1.86	1.87
資金調達利回	0.35	0.34
資金調達原価率	1.52	1.46
資金利鞘	0.34	0.41
預貸率 (未残)	57.35	58.83
預証率 (未残)	29.41	26.91

\*預貸率・預証率  
金融機関が調達した資金(預金積金・譲渡性預金)のうち、貸出金と有価証券で運用している割合をそれぞれ表しています。

### 金額、比率の表示方法

- 金額単位**  
(1) 各表に表示した金額単位未満の端数は切り捨てて記載しています。  
(2) 小計、合計等の合算は、円単位まで算出し、単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。
- 諸利回り・諸比率**  
小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。

本誌は、当金庫の経営内容を多くの皆様にご覧いただくために、2009年9月末時点の経営情報を取りまとめ報告するものです。  
半期決算は法定されておりませんので、会計監査人監査の対象となっております。

人と人のぬくもりを大切にしたい。

心と心の交流を大事にしたい。

私たちろうきんは、はたらく人たちのあたたかな絆から生まれた  
はたらく仲間の金融機関です。

その基本姿勢も、社会的な役割も、暮らしに役立つプランやサービスも、  
すべてがはたらく人の視点にたって発想されたもの。

ろうきんは、人と人の真ん中で、暮らしを見つめ、ニーズをつかみ、  
そして賢い生活のためのベストアドバイスを提案できる、  
はたらく人たちのいちばん身近で親しみやすい金融機関でありたいと思います。

## ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びを  
もって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによっ  
て成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

## 長野県労働金庫の概況（2009年9月末現在）

名 称	長野県労働金庫 登録金融機関 関東財務局長（登金）第268号	代 表 者	理事長 瀧澤 一夫
本 店 住 所	〒380-8611 長野県長野市県町523番地	常勤役職員数	381人（男263人、女118人）
電 話 番 号	(026) 237-3700	店 舗 数	21店舗、3出張所、 7ローンセンター
ホームページ	<a href="http://www.nagano-rokin.co.jp/">http://www.nagano-rokin.co.jp/</a>	出 資 金	2,014百万円
モバイルサイト	<a href="http://www.nagano-rokin.co.jp/mobile/">http://www.nagano-rokin.co.jp/mobile/</a>	預 金 残 高	497,590百万円
創 立	1951年（昭和26年）12月	貸 出 金 残 高	292,738百万円

※預金残高は譲渡性預金を含みます。